

124 昭和時代 日中戦争2

(平沼・阿部・米内・近衛Ⅱ)



平沼騏一郎

< 平沼騏一郎 内閣 > (挙国一致内閣)

大審院長経験者。不人気。

統制経済の強化

- ・ 米穀配給統制法
 - ・ 国民徴用令 (国家総動員法に基づく)
- 国家総動員法に基づき、政府は 議会 の同意がなくても政府の発する 緊急勅令 で国民や物資を動員できます。
- ・ 軍部の要求でドイツと三国同盟交渉

→ 米国、日本に対して

日米通商航海条約 の破棄を通告
いつでも対日貿易を制限できるようになりました。

1939 ノモンハン事件

ソ・満の国境紛争(草原なので不明確)が原因です。
ソ連の機械化部隊に史上空前の大敗を喫しました。しかし精神力では物量戦に勝てないという教訓を得ませんでした。

1939 独ソ不可侵条約 の衝撃

日本はドイツに裏切られました。

→ 欧州情勢は複雑怪奇と声明して総辞職



阿部信行

< 阿部信行 内閣 > (挙国一致内閣)

1939 第二次世界大戦 勃発

→ 日中戦争中であり、大戦不介入声明。

- ・ 価格等統制令 (国家総動員法に基づく)

< 米内光政 内閣 > (挙国一致内閣)

理知的な海軍大将。ナチス嫌い。

1940 南京に 汪兆銘 政権成立

親日政権をようやく南京に樹立しました。しかし汪政権は弱体で、戦争終結の政略は失敗しました。

1940 反軍演説 (斎藤隆夫・民政党議員)

台湾出兵を始めた大久保は自分の責任で終わらせた。
日清戦争を始めた伊藤は自分の責任で終わらせた。
日露戦争を始めた桂太郎は自分の責任で終わらせた。
日中戦争は、みんな無責任だ！内閣ころころ変わって！

1940 ナチスドイツが仏・蘭を破った！

→ 欧州情勢が変わったので日本の対応も変わってきます。仏印がら空き。

1940 近衛文麿、新体制運動 開始

…ナチス党のような強力な一党一党を作る運動です(→大政翼賛会に)

1940 陸軍、近衛内閣を作ろうとする。

軍部大臣現役武官制をちたつかせて、ナチス嫌いの米内内閣を総辞職に追い込みました。



近衛文麿

< 第二次近衛 内閣 >

不意に三国体制

第二次近衛は、仏印進駐、日独伊三国同盟、大政翼賛会

1940 北部仏印進駐

援蒋ルート遮断 が目的です！

松岡構想 (松岡洋右 外務大臣の構想)

日独伊ソ連が4か国で手を結び、アメリカが欧州・アジアに手を出せないようにする。

1940 日独伊三国同盟 締結

→ アメリカ、くず鉄・航空用ガソリン禁輸で対抗

北に逃がそう 北部仏印、第二次近衛、ガソリン禁輸

1940 日ソ中立条約 締結

1946 年3月まで日ソは戦争できない条約

1941.6 独ソ戦 勃発 独ソ不可侵条約違反

新興財閥

財閥を目の敵にしてきた軍との提携に慎重な三井三菱の既成財閥と異なり、新興財閥は積極的に軍と結んで成長、満州や朝鮮にも進出しました。

日産コンツェルン (鮎川義介)

→ 満州に進出

日窒コンツェルン (野口遵)

→ 朝鮮北部に進出

満兄さん (みつるあにいさん)

満州、あいかわ義介、にいさん

グッチョ・グッチ

朝鮮、野口遵、日窒コンツェルン



米内光政